

1 出生

出生数は 0.6% 増加

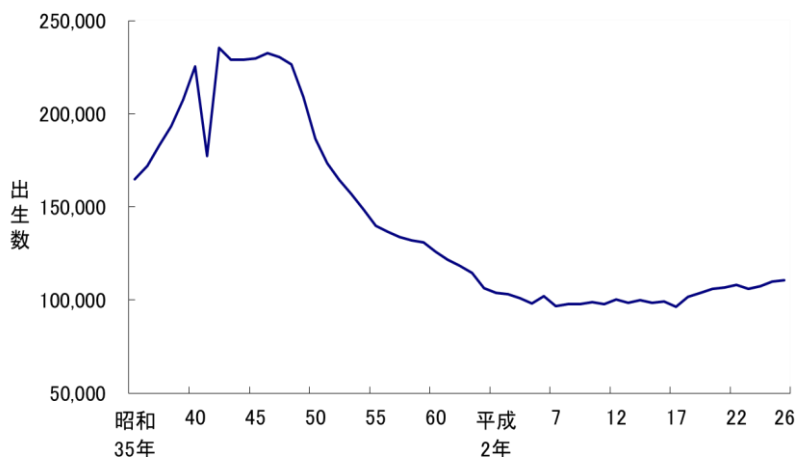
平成 26 年の出生数は 110,629 人で、前年の 109,986 人より 643 人（0.6%）増加した。人口千人あたりの出生数を表す「出生率」は 8.5 で前年と同率だった。

【人口動態統計年報（以下「年報」という。）第 1 表】

全国の出生率は 8.0 で、前年の 8.2 を 0.2 ポイント下回った。

【年報第 5 表】

図 1 出生数の年次推移（東京都）



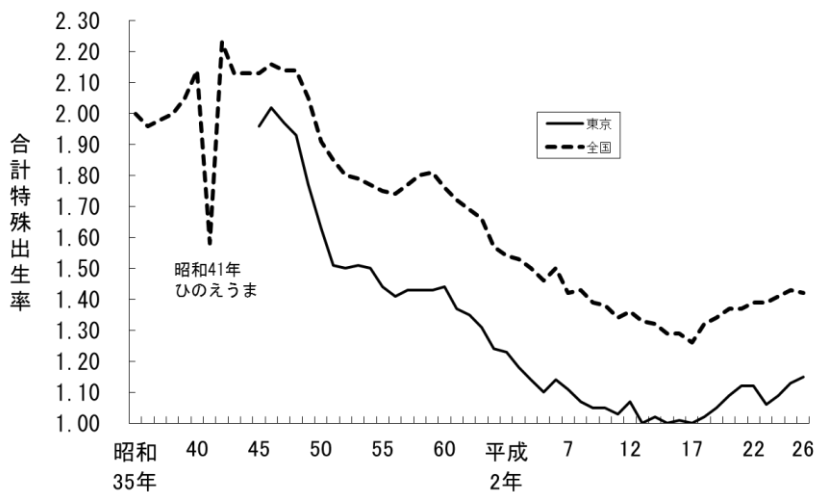
合計特殊出生率は 0.02 ポイント上昇

平成 26 年の合計特殊出生率※は 1.15 で、前年の 1.13 を 0.02 ポイント上回った。

【年報第 3 表】

区市町村別にみると、区部での最高は江戸川区、港区（1.39）、最低は新宿区（0.97）、市部の最高はあきる野市、東久留米市（1.43）、最低は三鷹市、清瀬市（1.16）、町村部の最高は八丈町（2.07）、最低は青ヶ島村（0.00）だった。（別表参照）

図 2 合計特殊出生率の年次推移



注 昭和 44 年までは、東京都の継続した数値はない

※ 合計特殊出生率 15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。

1 人の女性が仮にその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子供の数に相当する。

30 歳代から 40 歳代の母の出産が増加

出生数を母の年齢（5 歳階級）別にみると、15～29 歳の各階級では減少し、15 歳未満、30～49 歳の各階級及び 50 歳以上では増加した。

【年報第 6 表】

平成 10 年からは 25～29 歳に代わって、30～34 歳の出生数が最多になっている。

また、全国と比較すると東京都の 30 歳代及び 40 歳代の出産割合が高くなっている。（表 1）

図 3 母の年齢別出生数の年次推移（東京都）

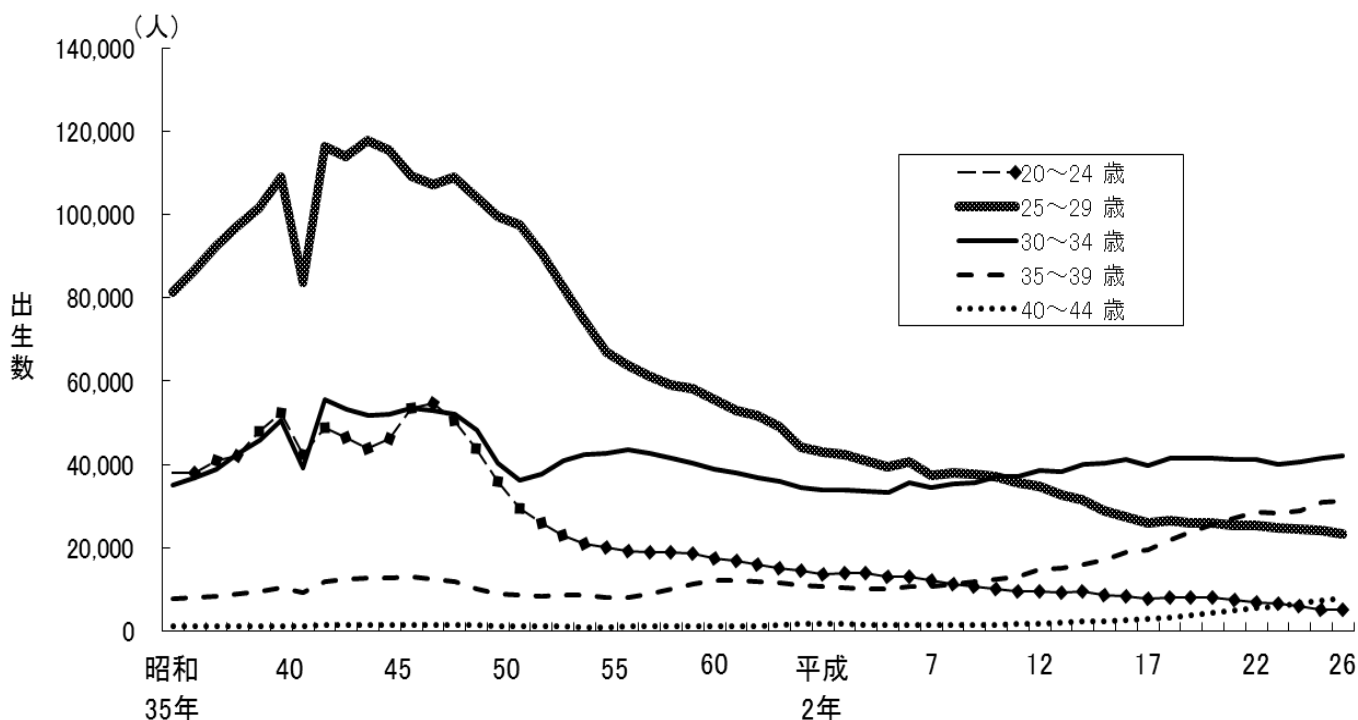


表 1 母の年齢別出生数、総数に対する割合

母の年齢	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳	45～49 歳
(出生数)						
全国	86,590	267,847	359,323	225,889	49,606	1,214
東京都	5,196	23,165	42,006	31,252	7,996	243
(総数に対する構成割合 %)						
全国	8.6	26.7	35.8	22.5	4.9	0.1
東京都	4.7	20.9	38.0	28.2	7.2	0.2

全国・・・平成 26 年人口動態統計（確定数）の概況 第 4 表－(1)（厚生労働省）

2 死 亡

死亡数は 0.5%増加

平成 26 年の死亡数は 111,023 人で、前年の 110,507 人より 516 人（0.5%）増加した。人口千人あたりの死亡数を表す「死亡率」は 8.5 で、前年と同率であった。

（26 年全国 10.1）

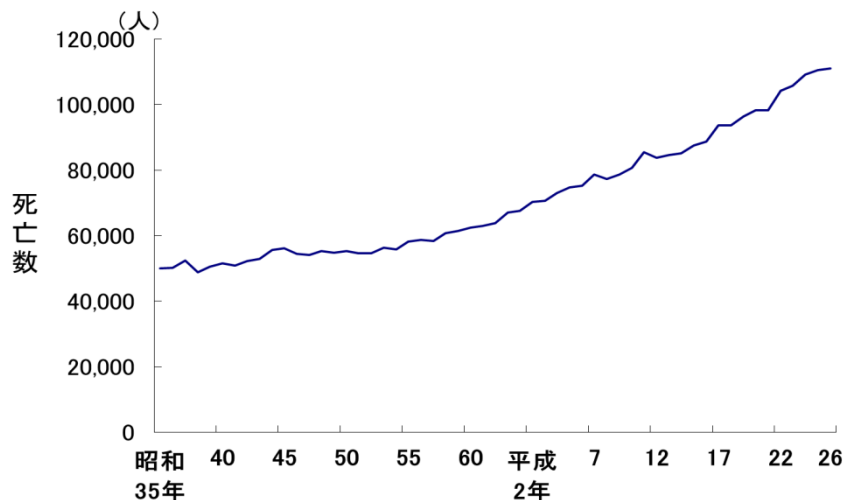
【年報第 1 表】【年報第 5 表】

地域別に死亡率をみると、区部は 8.3、市部は 8.2 で東京都全体（8.5）より低くなっている。

一方、郡部は 17.1、島部は 14.8 で東京都全体（8.5）より高くなっている。【年報第 4 表】

また、乳児死亡数（生後 1 年未満の死亡）は 205 人で、前年の 215 人より 10 人（4.7%）減少した。出生千人あたりの乳児死亡数を表す「乳児死亡率」は 1.9 で、前年の 2.0 を 0.1 ポイント下回った。新生児死亡数（生後 4 週未満の死亡）は 89 人、出生千人あたりの新生児死亡数を表す「新生児死亡率」は 0.8 で、前年の 0.9 を 0.1 ポイント下回った。【年報第 1 表】

図 4 死亡数の年次推移（東京都）



死因別死亡数は「悪性新生物」が第一位

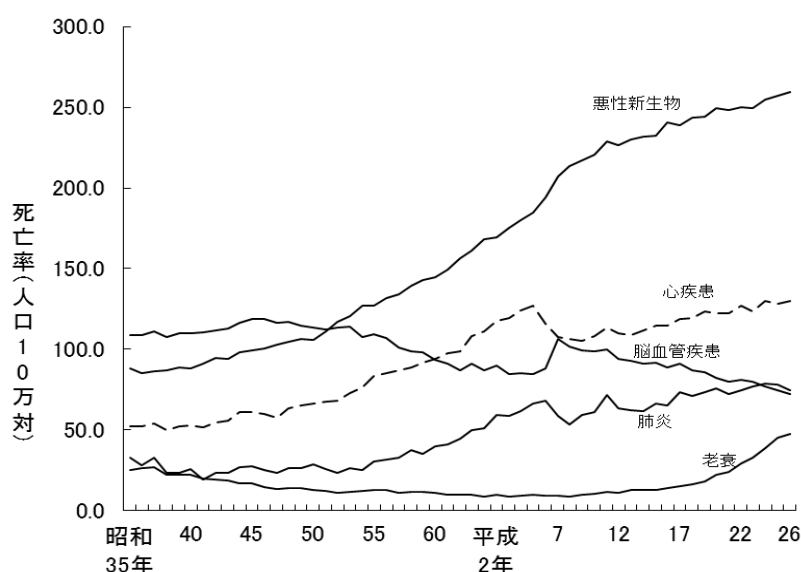
死因別にみると、死因順位の第一位は昭和 52 年以降「悪性新生物」であり、「悪性新生物」による死亡者数は 33,820 人（30.5%）で、前年の 33,349 人より 471 人（1.4%）増加した。

第二位は「心疾患」（15.3%）、第三位は「肺炎」（8.8%）、第四位は「脳血管疾患」（8.5%）、第五位は「老衰」（5.6%）となっている。

【年報第 8 表】【年報第 9 表】

全国も第一位から第五位まで東京都と同じである。【年報第 8 表】

図 5 主要死因別死亡率の年次推移（東京都）



3 自然増減数

自然増減数は 3 年連続マイナス

平成 26 年の自然増減[※]数は△394 人で、前年（△521 人）より減少幅が縮小した。

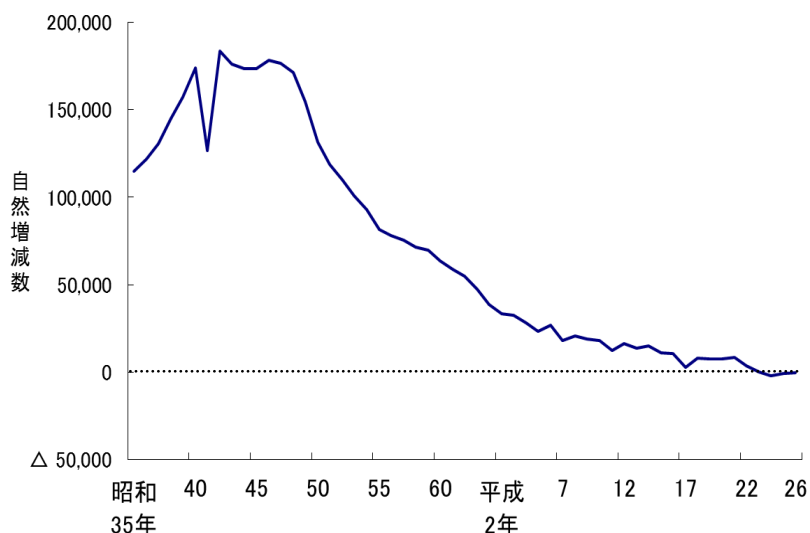
また、人口千人あたりの自然増減数を表す「自然増減率」は△0.0 で、前年と同率であった。

【年報第 1 表】

※ 自然増減

出生数から死亡数を減じたもの

図 6 自然増減数の年次推移（東京都）



4 死産

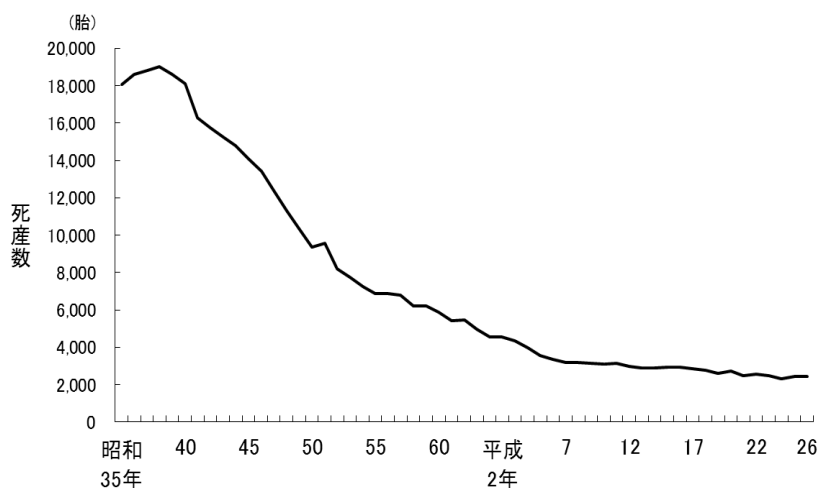
死産数は増加

平成 26 年の死産数は 2,460 胎で、前年の 2,441 胎より 19 胎（0.8%）増加した。

また、出産千人あたりの死産児数を表す「死産率」は 21.8 で、前年の 21.7 を 0.1 ポイント上回った。

【年報第 1 表】

図 7 死産数の年次推移（東京都）



5 婚 姻

婚姻件数は減少

平成 26 年の婚姻件数は 87,000 組で、前年の 88,067 組より 1,067 組（1.2%）減少した。

人口千人あたりの婚姻件数を表す「婚姻率」は 6.7 で、前年の 6.8 を 0.1 ポイント下回った。

【年報第 1 表】

婚姻率は全国 5.1 で、東京都の方が高い値となっている。

地域別にみると、区部（7.3）が東京都全体（6.7）より高く、市部（4.8）、郡部（3.9）、島部（4.5）は東京都全体（6.7）より低くなっている。

【年報第 4 表】

東京都の平均初婚年齢は夫 32.3 歳（全国夫 31.1 歳）、妻 30.5 歳（全国妻 29.4 歳）で、夫・妻とも全国で最も高い。（表 2）

図 8 婚姻件数の年次推移（東京都）

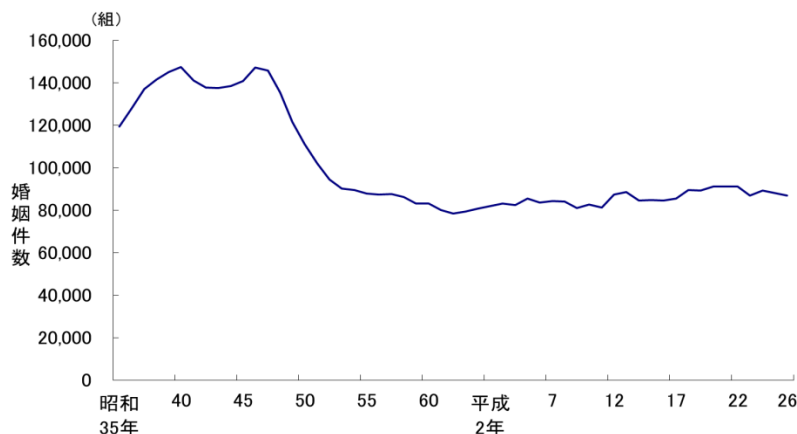


表 2 平均初婚年齢、東京都と全国の比較

	平成 25 年		平成 26 年	
	夫	妻	夫	妻
全国	30.9	29.3	31.1	29.4
東京都	32.2	30.4	32.3	30.5

全国・・・平成 26 年人口動態統計（確定数） 婚姻 第 9-12 表（厚生労働省）

6 離 婚

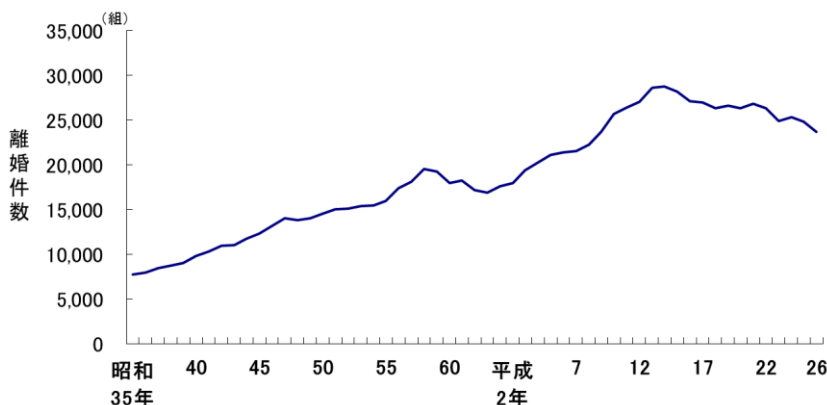
離婚件数は減少

平成 26 年の離婚件数は 23,653 組で、前年の 24,855 組より 1,202 組（4.8%）減少した。

また、人口千人あたりの離婚数を表す「離婚率」は 1.81（全国 1.77）で、前年の 1.92 を 0.11 ポイント下回った。【年報第 1 表】

地域別にみると、区部（1.85）、島部（2.29）は東京都全体（1.81）より高く、市部（1.59）、郡部（1.40）は低くなっている。【年報第 4 表】

図 9 離婚件数の年次推移（東京都）



平成26年 区市町村別合計特殊出生率の順位

(別表)

★東京都全域での順位

順位	区市町村	合計特殊出生率
1	八丈町	2.07
2	利島村	1.96
3	三宅村	1.86
4	小笠原村	1.82
5	御蔵島村	1.58
6	日の出町	1.54
7	あきる野市	1.43
8	新島村	1.43
9	東久留米市	1.43
10	稲城市	1.41
11	小平市	1.40
12	府中市	1.40
13	江戸川区	1.39
14	港区	1.39
15	大島町	1.38
16	羽村市	1.38
17	武蔵村山市	1.38
18	東大和市	1.37
19	昭島市	1.37
20	葛飾区	1.37
21	足立区	1.37
22	中央区	1.35
23	日野市	1.35
24	千代田区	1.34
25	小金井市	1.34
26	荒川区	1.34
27	江東区	1.33
28	福生市	1.33
29	調布市	1.31
30	瑞穂町	1.29
31	青梅市	1.27
32	東村山市	1.26
33	立川市	1.26
34	西東京市	1.25
35	国立市	1.24
36	町田市	1.24
37	多摩市	1.22
38	墨田区	1.22
39	台東区	1.22
40	練馬区	1.21
41	北区	1.20
42	八王子市	1.19
43	大田区	1.19
44	狛江市	1.19
45	国分寺市	1.17
46	武蔵野市	1.17
47	板橋区	1.16
48	清瀬市	1.16
49	三鷹市	1.16
50	品川区	1.14
51	文京区	1.13
52	世田谷区	1.10
53	目黒区	1.05
54	渋谷区	1.02
55	豊島区	1.00
56	中野区	0.99
57	杉並区	0.99
58	新宿区	0.97
59	奥多摩町	0.94
60	檜原村	0.84
61	神津島村	0.74
62	青ヶ島村	0.00

★区部での順位

順位	区市町村	合計特殊出生率
1	江戸川区	1.39
2	港区	1.39
3	葛飾区	1.37
4	足立区	1.37
5	中央区	1.35
6	千代田区	1.34
7	荒川区	1.34
8	江東区	1.33
9	墨田区	1.22
10	台東区	1.22
11	練馬区	1.21
12	北区	1.20
13	大田区	1.19
14	板橋区	1.16
15	品川区	1.14
16	文京区	1.13
17	世田谷区	1.10
18	目黒区	1.05
19	渋谷区	1.02
20	豊島区	1.00
21	中野区	0.99
22	杉並区	0.99
23	新宿区	0.97

★市部での順位

順位	区市町村	合計特殊出生率
1	あきる野市	1.43
2	東久留米市	1.43
3	稲城市	1.41
4	小平市	1.40
5	府中市	1.40
6	羽村市	1.38
7	武蔵村山市	1.38
8	東大和市	1.37
9	昭島市	1.37
10	日野市	1.35
11	小金井市	1.34
12	福生市	1.33
13	調布市	1.31
14	青梅市	1.27
15	東村山市	1.26
16	立川市	1.26
17	西東京市	1.25
18	国立市	1.24
19	町田市	1.24
20	多摩市	1.22
21	八王子市	1.19
22	狛江市	1.19
23	国分寺市	1.17
24	武蔵野市	1.17
25	清瀬市	1.16
26	三鷹市	1.16

★町村部での順位

順位	区市町村	合計特殊出生率
1	八丈町	2.07
2	利島村	1.96
3	三宅村	1.86
4	小笠原村	1.82
5	御蔵島村	1.58
6	日の出町	1.54
7	新島村	1.43
8	大島町	1.38
9	瑞穂町	1.29
10	奥多摩町	0.94
11	檜原村	0.84
12	神津島村	0.74
13	青ヶ島村	0.00

★郡部での順位

順位	区市町村	合計特殊出生率
1	日の出町	1.54
2	瑞穂町	1.29
3	奥多摩町	0.94
4	檜原村	0.84

★島部での順位

順位	区市町村	合計特殊出生率
1	八丈町	2.07
2	利島村	1.96
3	三宅村	1.86
4	小笠原村	1.82
5	御蔵島村	1.58
6	新島村	1.43
7	大島町	1.38
8	神津島村	0.74
9	青ヶ島村	0.00

注：区市町村別順位については、同率であった場合、表示桁数以下の数値により順位を付している。